おれんじ

NO.89

発行日　2021.6.12
発行・編集
土佐女子中学・高等学校
高知市追手筋2丁目3番1号
電話　875−3111（代）

出会いは生涯の宝

学校長　濵田　美穂

初めに

初夏の候、皆様におかれましてはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。また、平素は格別のご高配を賜り、有り難うございます。

四月一日より、荒川操先生の後任として校長を務めさせていただくことになりました濵田と申します。昭和三十五年に土佐女子中学に入学し、四十一年に第六十三回生として卒業いたしました。

教員生活は今年で四十三年目になりますが、そのほとんどを母校の教員として勤めさせていただきました。こんな幸せなことはないと常々感じております。

本校は、来年創立百二十周年を迎えます。この栄誉ある歴史に恥じないよう、生徒や保護者の皆様、先生方にお助けいただき、全力を尽くして取り組む所存であります。どうかよろしくお願いいたします。

入学式に際して

入学式で、新入生の皆さんに、出会いを大切にしてほしいというお話をいたしました。その中でパナソニック（松下電器）創業者の故松下幸之助氏と、フィギュアスケートの羽生結弦選手の言葉を紹介しました。入学式に参加していなかった新入生以外の生徒の皆さんにも、ぜひ知ってほしいと思いご紹介します。

故松下幸之助氏は「折々の記」という著書の中で次のように記されています。

「生まれつき、どちらかといえば病弱であったぼくは、両親や、兄弟、姉妹がみな比較的短命であったこともあって、若いころはそう長生きできるとは思っていませんでした。それが、今日までともかくも自分の仕事にそれなりの成果をあげつつ取り組んでこられたということは、まことにありがたいことだとつくづく思います。これもやはり、さまざまな面で多くの人々に支えていただいたおかげだと思います。

これまで僕が受けた恩恵の中には、ある人に出会って、その人の言動から直接、間接にいろいろと教えられたということが、数限りなくあります。人生の折々に多くの人と出会い、さまざまな指導や助言、協力をいただいたことが、今日のぼくをあらしめている、という気がするのです。」

また、フィギュアスケートの羽生結弦選手はインタビューに答えて、

「荒川静香選手と出会い、同じリンクで練習をしたことが自分の原点になっており、イナバウアーという技術を尊敬の意味を込めて自分の演技の中に取り入れている。」

と述べています。

このように、出会いが人生に大きな影響を及ぼしたという事例を私たちは他にも数多く知ることができます。

自身の出会い

私自身にも、もし土佐女子中学に入学していなかったら、自分の人生は大きく変わっていただろうと思う出会いがあります。それは、ある先輩との出会いです。当時の土佐女子には入学すると必ず何かのクラブに入部するという校風が漲っておりました。私は、入学当初はバドミントンをやってみたいという希望を持っていました。小学生のころ、近所にバドミントンの国体選手がいて、小路でよく素振りをなさっていたのを見ていたからです。

5月に入り部活動見学の許可が出ると、友人たちと、講堂でやっているバドミントン部の練習を見学に出かけました。講堂は、現在の保健室辺りにあり、木造の平屋建てで、床も節くれだっており、見るからにとても古く、広さは現在の体育館の三分の二ほどの建物でした。練習はその半分を使って行われており、選手たちは汗を流して前後左右に激しく動き回っていました。

講堂の半分から南側には卓球台が六台置かれており、そこでは卓球部の練習が行われていました。ふとそちらに気を取られると、一人の選手が顧問の先生らしき方と打ち合っているのに目が止まりました。淡いグレーのショートパンツにエビ茶色の半そでのユニフォームを身にまとい、ラリーを続けているのです。卓球という競技を見たのはその時が初めてでした。他の部員たちもラリーを続けているのですが、そこだけはひときわ浮き上がって見えました。いくらでもラリーが続くのです。その姿はとても美しく、まったくミスがないのです。時を忘れ、いつまでも見入っていました。ふと気が付くと、卓球部に入りたいという気持ちが沸き上がっていました。

一目散に家路につくと、帰り着くなり母に、

「卓球部に入りたい。入部してもよいだろうか」

と聞いていました。

突然の話で多分反対されるであろうと考えていましたが、その時の母の答えは少し拍子抜けするような、いとも簡単な答えでした。

「卓球は室内の競技だから、日に焼けないので良いのではないか」

とのことでした。

こんな訳で中学一年生の5月の半ばから、卓球を始めることになったのです。もし見学に行った日に、その先輩が練習に来られていなかったら、きっと私は初期の希望通りバドミントン部に入部していたと思います。

後に聞いた話ですが、その先輩は高校二年生で、土佐女子卓球部では初めて四国総体でシングルスに優勝された方でした。進学のため、練習は週に3回ぐらいの頻度で参加されていたようです。たまたまこの日が練習日だったということでした。私はとても幸運だったことになります。この出会いが後に私を世界卓球選手権大会の舞台に導いてくれました。以来六十年、こんなに長く卓球というスポーツに関わることになろうとは、夢にも思っていませんでした。つくづく人の縁の不思議さを感じております。

出会いには人と人との出会いや、書物との出会いなど、様々な出会いがあると思います。青春の活躍の舞台として土佐女子を選択してくださった生徒の皆さんには、これからの学校生活で遭遇する多くの出会いを見逃さぬよう、感性を研ぎ澄まして日々を過ごしてほしいと願います。良い出会いが生涯の宝になりますように。

幻を超えて（4月20日・東京五輪聖火リレーより）

「人生に不運はつきものである。」そんなありきたりな言葉では言い尽くせないような不運に見舞われながら、今回の聖火リレーで生き生きとオリンピックのトーチを掲げて走った土佐女子ゆかりの二人の女性を紹介する。

一人は1980年モスクワオリンピック・バレーボール日本代表に選出された竹島晶代（旧姓池知晶代）さんである。（写真右）土佐女子高校在学中には春高バレーやインターハイに出場して活躍した。その後、青春のすべてを賭けてつかんだ五輪代表権。しかし、モスクワ五輪は世界を二分する政局により日本がボイコットしたため、世にいう「幻のオリンピック」となってしまった。

もう一人は現在、土佐女子中学2年在学の栗山陽菜さん（写真左）である。小学6年生のとき、県大会や四国大会で優勝を重ね、2019年の11月に競泳、平泳ぎでジュニア五輪の標準記録を突破した。だが、ジュニアオリンピックはコロナ禍のため幻（中止）になってしまった。

今は幻を越えて、それぞれの思いを胸に土佐路を駆け抜けた二人、その瞳には新たな未来が映っているに違いない。

そして、フィナーレを演奏で盛り上げた土佐女子吹奏楽部の皆さん（写真下）。今では県内のイベントにはかかせない存在だ。これもまた、土佐女子の誇りである。

入学式

令和二年度入試をふりかえって

進路部長　田村　弘

東日本大震災から10年の節目となる今年。大学入試制度改革元年となった一一八回生にとっては、『大学入試センター試験』の廃止に伴う『大学入試共通テスト』への対応に翻弄され続けた3年間となりました。国語や数学での記述式問題の導入や、英語試験を廃止し英検等の外部検定試験を代用することが発表され、土壇場で一転して撤回されるなど、受験生・保護者・学校関係者ともに振り回されました。そして、最終年度を迎える際に降って湧いたようなコロナウイルス感染症。長期間に亘って休校・家庭学習を余儀なくされ、学年末考査と中間考査が中止となりました。オンライン教材や課題を課し、分散登校や時差登校を経て学校が再開できたのは5月の後半でした。

『平常』を模索しながら授業を再開し、学年集会や全国模試の受験を行い、複数回の保護者面談・三者面談を設定し、失われた新学期の貴重な時間を取り戻そうと行動する中で、受験生として大きく成長していく姿が見られました。コロナ禍の受験という難題に対して、一一八回生と教職員の間に「何とかしなければ」という危機感が共有できていたように感じます。

先の見通しが不透明な中、受験生は推薦試験から複数校に積極的に出願していく傾向が見られました。一部の私立中堅校が合格者数を大幅に増やした結果、私立大学全体の受験者総数は前年度比減ながら、合格者総数は前年度比増という逆転現象が起こり、早い時期から入学生の争奪戦が繰り広げられました。

また、夏休みの短縮など異例づくしの環境の中、充分な受験準備ができず、態勢が整わないままに入試に臨む生徒も見受けられ、結果として数多くの出願を行うこととなり、情報収集や事前の準備の大切さを痛感することとなりました。一方で、本校においても第一志望校に推薦試験で不合格になった生徒が、一般入試で見事合格する事例が複数あり、最後まで諦めないことの大切さが具現化された入試でした。

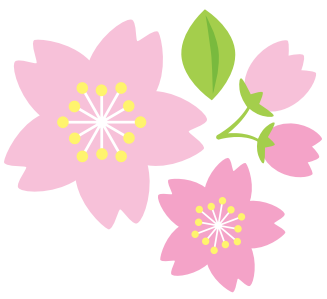
国公立大学では出願者が特定の大学・学部に偏った結果、追加で合格発表を行う大学や、出願開始後に受験生集めに奔走する大学も見受けられました。県内においても、いわゆる5教科に受験科目数を増やした学科の受験倍率が大幅に下がり、1・01倍という入試区分も存在しました。まさに大学入学共通テストで5教科を受験した生徒にとっては、たいへんに有利な状況でした。

受験生の心理として、「苦手な科目は受験したくない」という考えのもと受験科目を選別し、受験科目数を減らそうとする傾向が見られます。しかしながら、しんどい気持ちは受験生共通であるので、集団心理となって少しでも科目数の少ない学部、前年度に倍率の低かった学科等、少しでも『有利な情報』を発信しているところに全体の出願が偏ります。これらの情報は誰にとっても有利であるので、自分だけの優位性とは言えません。結果的に更にしんどい条件で受験をすることになってしまうことがあります。

入試改革のポイントとして、多面的評価があげられます。学校側が作成する『調査書』や『推薦書』に加え、受験生側も『志望理由書・自己推薦書』だけでなく、自分自身の高校3年間の『活動実績報告書』の提出を推薦・一般入試を問わず求められることとなりました。つまり、受験生の自己責任で時系列に沿って具体的に成果を明示する必要があるのです。さらに、英語の外部検定試験の成績スコアそのものが出願要件になる場合や、合否判定の際に有利に働く場合もあるので計画的に受検しましょう。

今年度から中学校において、来年度からは高等学校において新学習指導要領が全面実施されます。学習者側が主体的な取り組みを求められるだけでなく教科内容にも改革が及び、これまでの教科の枠組みを超えた科目が新設されます。

土佐女子での学校生活を通して、柔軟な思考力や社会への興味関心、他者を思い遣る気持ちを涵養してください。基本的な生活習慣と学習習慣を早期に確立することで確かな学力を身に付けましょう。また、総合的学習で実施される職場体験活動や、分野別探究活動等を経験する中で、将来の『なりたい自分』を見つけてください。



合格体験記

『文系理系という枠を超えて』

高知工科大学　情報学群　（総合型選抜）　合格

川田　きらら

中学生の頃から空間や平面のデザインを考えるのが好きで、高1の頃からグラフィックデザイナーになりたいと思うようになりました。そこで、美術系の学部に進学するために高1の文理選択では文系クラスを選択しました。ところが、グラフィックデザインを学べる大学は高知県にはなく、県内での進学を目指していた私にとって、このことは大きな悩みの種となりました。そんな時、高知工科大学情報学群を母に勧められ、高2の時にオープンキャンパスに参加したところ、デザインの力を発揮できる場があること、CG技術や画像処理について学べることを知りました。担任の先生にも相談し、高2の10月に、高知工科大学を受験することを決意しました。まずは総合型選抜で受験し、不合格だった時のために一般入試も見込んで勉強をしていくことにしました。ですが、情報学群は理系の学群であり、文系クラスの私は塾にも通っていなかったので、専門理科の学習を自分でしなければなりませんでした。

専門理科に化学を選び、化学の添削を先生に頼んで始めました。教科書の理解のために基本事項を穴埋め問題形式で解いていき、単元ごとに章末問題を解きました。添削を進めていく途中、なかなか知識が定着していないと感じ、理系クラスだった先輩から参考書や問題集を譲っても

大学別合格者抜粋（のべ数・年度は入試年度）

	大学名	合格者数 令和3年度
国・公立大	神戸大	1
	香川大	1
	愛媛大	1
	高知大	7
	熊本大	1
	釧路公立大	5
	都留文科大	1
	高知工科大	5
	高知県立大	10
	北九州市立大	1
	計	33
私立大	亜細亜大	2
	創価大	1
	國學院大	1
	実践女子大	1
	昭和女子大	1
	大正大	1
	帝京平成大	1
	帝京大	1
	東海大	1
	東京工科大	1
	東洋大	2
	日本大	1
	城西国際大	1
	法政大	1
	明治大	1
	明治学院大	1

	大学名	合格者数 令和3年度
私立大	立教大	1
	昭和音大	1
	横浜薬科大	3
	京都外大	2
	京都産業大	3
	京都女子大	3
	京都橘大	9
	桜美林大	1
	同志社大	1
	同志社女子大	1
	佛教大	4
	立命館大	1
	龍谷大	1
	大谷大	1
	大阪芸大	3
	大阪経済大	2
	大阪商業大	2
	関西大	4
	大和大	1
	関西外大	4
	近畿大	3
	梅花女子大	1
	阪南大	3
	関西学院大	2
	甲南大	2
	甲南女子大	3
	神戸学院大	6

	大学名	合格者数 令和3年度
私立大	神戸女子大	5
	神戸国際大	1
	神戸松蔭女子大	1
	兵庫医療大	2
	関西福祉大	3
	奈良大	1
	岡山理大	4
	川崎医療福祉大	2
	美作大	6
	安田女子大	3
	四国大	4
	徳島文理大	19
	松山大	6
	高知学園大	12
	高知リハ専門職大	5
	福岡大	1
	他	42
	計	203
短大	奈良芸術大	2
	関西外大短大部	2
	高知学園短大	12
	他	4
	計	20

R3.4.1 現在

らい、高3の夏頃から自分で問題集も解き始めました。

そんな中で迎えた総合型選抜は、数学の試験と面接がありました。面接の練習を始めたばかりの頃は、自分の何をアピールすべきなのか全く分からず、先生から厳しい言葉をいただくこともありました。ですが、先生方と面接練習を重ね、先生方とたくさん話し合うことで、私にしかないものは何なのか、どのように伝えれば人が興味を持って聞いてくれるのかが分かるようになっていきました。面接は、たくさんの先生と練習する中で自分にしかできない受け答えをする方法が見えてくると思います。一度きりの面接で面接官に自分を最大限アピールするためにも、先生との練習、相談をたくさんして自分の中で最善の面接を目指してください。

専門理科と並行して5教科を勉強していく中で最も衝撃的だった出来事は、化学基礎と化学を併せて受験できないことに高3の夏に気が付いたことです。物理基礎の添削指導を急遽始めてもらい、基礎的な問題集も並行して一冊解きました。ですが、共通テストギリギリになっても模試でなかなか点数が上がらなかったので、問題集を買って約一週間で終わらせ、共通テスト二週間前からは共通テスト予想問題をひたすら解き続けました。

もちろん受験に必要な科目の授業を選択するのに越したことはありませんが、もし必要な科目の授業がなくても将来の自分の目標を諦める直接の理由にはなりません。私が理系学部を目指すと決めた時、他の理系の同級生達と対等に戦えない状態でしたが、先生方の協力や日々の勉強によって、共通テストまでに理系と対等に戦える状態にすることができました。私は総合型選抜で11月に合格できましたが、勉強をしている周りの友達からいい刺激を受けながら共通テストまで勉強を続けました。思い通りの結果にならなかった教科もありましたが、もし合格後に勉強を続けていなければ、今私がある環境、友人関係、今日までに学べた多くのことはなかったと思います。文系、理系という枠にはまる必要はありません。準備をしっかりすること、しっかり調べること、人に相談することを大切に。進路は自分の選択科目に左右されるものではなく、自分でどうにかするものです。自分が本当にしたいことのための勉強をする時は、自分の本当の力が発揮できる時であり、きっと頑張れると思います。後輩の皆さん、夢を叶える途中で燃え尽きてしまわないよう、強い信念と熱意を忘れずに今何が必要なのか、近くの目標から少しずつ立てていき、夢を叶える第一歩を踏み出してください。応援しています。

卒業式で答辞を読む川田さん

土佐女子中学校に入学して

槌谷ホーム　20番　高橋　陽菜子

私は、小学校を卒業して、また新しいスタート地点に立っています。ここから先は、まだ分からない未知の自分のたくさんの可能性がある人生の始まりです。新しい制服やかばん、新しい教室、始めて出会う仲間たち。そんな新しいものばかりを持った自分を何となく誇らしく思いました。小学校の卒業では、悲しみや不安な気持ちが襲ってきましたが、もう大丈夫です。今は夢と期待であふれています。

中学校では小学校とはちがい、学習内容が一段と難しくなったり、部活動もハードルが高くなりますが何事も新しい仲間たちと協力し合いながらがんばっていけばりこえていけるような気乗しました。

これからはとても忙しく山大変になり困ることも沢てあると思います。だから、仲間たちと仲良く協力し合いながら、中学校・高校生活を過ごしていきたいです。

また、五年後の大学受験は、それぞれの行く進路が異なるので、この六年間で自分を磨き上げていくとともに、自立心を高めていきたいです。

濱田千ホーム　4番　上村　すず

私は、土佐女子中学校に入学してからは、感謝を忘れないようにしたいです。

思えば、私はいつも、あれを習いたい、これを習いたいと、たくさんの習い事をしてきましたが、続いているのは硬筆と学研だけでした。頃それをやりたいと、小さいキットは、一度も使わないまま買ってもらった、編み物の、家のどこかにねむっています。

私が本当は土佐女子中学校へ行きたいことを伝えたときも、母は許可して、過去問を買ってくれたし、祖母も勉強を教えてくれました。これが恵まれているということに、最近気づきました。習い事をしたくてもできない人もいるし、自分の行きたい学校へ行けない人もいます。私は前まであたりまえだと思っていましたが、今は感謝でいっぱいです。応援してくれた人や勉強を教えてくれた祖母や学研、学校の先生、皆のおかげで入学できたので、精いっぱい勉強をがんばりたいです。

蝶野ホーム　2番　大坪　穂実

私は、土佐女子中学校に入学して楽しみたいことが三つあります。一つ目はクラブ活動です。中学生になると、小学校にはなかった部活動が始まるので新しい友達と一緒に新しい技などを習得していきたいと思っています。

二つ目は英語の授業です。小学校でも学習しましたが、それをさらに深めていけるような授業が楽しみです。

三つ目は様々な学校行事です。理由は、新しい友達と仲を深めるきっかけになるし、仲間たちとチームワークを高めていけるからです。

これら以外にも、普段の授業や休み時間などの過ごし方も楽しみにしています。初めての中学生活なので思い通りにいかないときが、これからいろいろな場面で多く出てくると思うけれど、何事にも挑戦していけるような中学生になりたいと思っています。そして、充実した学校生活を送れるようにがんばります。

小松ホーム　23番　寺下　奈那

中学生になる私の一番の目標は、時間を上手に使い楽しい中学校生活を送ることです。

私は物事を後回しにする癖があります。小学校の夏休みの宿題なども、いつも後回しにして夏休みの最後の方に宿題を終わらせていました。私は中学生になる機会に、そんな自分を変えて時間を大切に使っていきたいと思います。

私は、時間を大切に使うために、計画を立てて行動することが大事だと思います。今まで小学校には歩いて5分で着いていたけれど土佐女子中学校になると、遠くなってバスを使わなければならないので、今までの時間に出発すると間に合わなくなってしまいます。だから、きちんと計画を立てて行動していきたいです。

時間を守ることは学校生活だけじゃなく、友達との関係にも大事なことだと思います。自分だけの都合で行動するのではなくて、周りの人たちのことも考えながら行動することで楽しい中学校生活を送りたいと思います。

ニュージーランドにて
（令和１年度）

校内英語留学

予餞会

遠足・・・・・

令和三年四月二十二日（木）、春の遠足が行われました。
行き先は以下の通りでした。

・中一　高知城
・中二　県立美術館
・中三　五台山
・高一　わんぱーくこうち
・高二　五台山
・高三　桂浜

受け継がれた伝統（第74回県高校体育大会入賞一覧）

本校バドミントン女子が団体で県体を制し、みごとインターハイ出場を決めた、実に44回目の優勝である。監督自身も土佐女子バドミントン部でその栄光の歴史の一コマを彩った選手であった。

また、弓道、第十つばさ選手が個人戦を制した。インターハイ個人全国優勝の経歴を持つ二人の卒業生の指導者のもと、今年も個人戦でインターハイ出場を勝ち取った。

さらに、卓球、シングルス2位で横田心選手がインターハイ出場を決めた。濵田校長以下、多くの全国大会出場者を輩出してきた本校卓球部、今年もその伝統が受け継がれていく。

バドミントン団体優勝

令和三年度 主な受賞結果

バドミントン部	団体　優勝（四国大会・インターハイ出場）			
	個人戦は後日に延期の予定です。			
卓　球　部	団体　2位（四国大会出場）			
	シングルス	2位	横田　心（四国大会・インターハイ出場）	
		ベスト16	山本偉月、八木彩寧、佐藤瑠南、橋本礼香、石川知佳（四国大会出場）	
	ダブルス	ベスト4	山本偉月・横田　心　組（四国大会出場）	
		ベスト8	八木彩寧・佐藤瑠南　組（四国大会出場）	
陸上競技部	400m	4位	幾井莉子	以上、2名　（四国大会出場）（※6月開催予定の四国大会で6位までに入賞した者がインターハイ出場）
		6位	橋本愛奈	
弓　道　部	個人	優勝	第十つばさ　（四国大会・インターハイ出場）	
ライフル射撃	ビームピストル女子60発	第1位	阿部花論	
ソフトテニス部	個人戦	ベスト16	藤宗澪里・沖　あこ　組（四国大会出場）	

以上5月25日現在の結果です。

令和三年度 生徒会役員

【高校】

生徒会長	高2	吉野H	山崎　菜々
生徒議会議長	高2	戸梶H	大黒　寿珠
生徒議会副議長	高2	和田H	池澤　明香
生徒議会書記	高2	戸梶H	對馬　妃那
生徒議会書記	高1	吉田H	竹内　梨珠
生徒議会書記	高1	吉田H	森下　美羽
執行委員長	高2	和田H	公文　夢花
副執行委員長	高2	和田H	田中　里佳
執行部書記	高2	和田H	福田　百花
執行部書記	高1	瀬戸H	原　鈴実
会計	高1	吉田H	市山　愛茜
会計	高1	宮本H	筒井　真菜

【中学】

生徒会長	中3	福本H	西森　清美
生徒議会議長	中3	織田H	山﨑　はのか
生徒議会副議長	中3	松本H	バーゴーイン野花ララ
生徒議会書記	中3	下村H	宮川　夕奈
生徒議会書記	中3	松本H	宮丸　菜津美
生徒議会書記	中2	永坂H	芝　紗保
執行委員長	中3	福本H	岩本　華月
副執行委員長	中3	福本H	松田　菜々子
執行部書記	中1	槌谷H	門田　紗英
執行部書記	中1	槌谷H	髙橋　陽菜子
会計	中3	織田H	酒井　なつみ
会計	中3	松本H	大野　紗矢

令和三年度 生徒会予算

【収入】

入会金	17、685、253円
会費	692、000円
繰越金	9、490、000円
	7、503、253円

【支出】

生徒会本部費	17、685、253円
慶弔費	300、000円
遠征費	100、000円
雑費	7、100、000円
文化部費	5、000円
運動部費	1、541、800円
予備費	3、187、300円
	5、451、153円

令和三年度 後援会役員人事

6月1日改選

会長	高2	岡村	岳尚
副会長	高2	西内	大
〃	高1	五藤	千朋
〃	（校長）	濵田	美穂
評議員	高2	福島	宏人
〃	高3	横矢	雅子
〃	高1	竹村	典徳
〃	高3・中3	小笠原	基文
〃	中3	上村	輝之
〃	中3	藤本	誠
〃	中2	北村	隆政
〃	中2	松井	晶久
〃	中2	松岡	良展
監事	高1	川久保	雄司
〃	高3	上田	秀彦

令和三年度 後援会支部長

高知東	高1	吉岡	砂緒
高知中央	高2	大畑	剛
高知北	高2	筒井	哲也
潮江・朝倉	高3	生田	恵一
高知南・土佐市	高2	金子	尚子
室戸・中芸・安芸	高2	山本	歩
香南・香美・南国	高2	上島	潤
いの・佐川・越知・日高	高2	濵田	智子
須崎・四万十町	高1	竹崎	直樹
幡多	高3	沖	有紀